

# 磐城時報

編輯 石城郡平野町屋敷町十四  
印刷 磐城郡平野町屋敷町十四  
電話 磐城郡平野町屋敷町十四  
一、部金或は一ヶ月金金五圓  
廣告料一ヶ月金五圓至五十圓  
日刊(日曜、祭日)休刊

## 四十尺の鐵橋から

### 貨車十三輛轉覆

#### 烈風に吹き飛ばさるる 奇蹟的に乗組員無事

平野三日午後九時五十分發長町は列車の中部だけで前部と後部  
驛行貨物列車第二八九號が平野が残りつたため機關手、車掌  
發後約一時間遅延し午後零時及等乗組員は無事であつた事は不  
葉部夜の森驛を發車四日前零時思議であると言はれてゐる。樺  
時熊川鐵橋を通過せんとした際突如と同時前に車掌は平野  
三十三米の烈風に煽られ前部が驛に駆けつけ急を知らしたた  
ら六輛目の空車以後引續き十三輛驛から各驛に急報し直に工夫  
輛は約四十尺の河中に折り重なるを派遣し復舊作業に着手した  
つて轉覆し、車体が重なつて鐵レールも枕木も列車と共に河中  
橋にまで届いたので後部の十三に落ちたので作業容易ならず四  
輛は轉覆を免れた。轉覆したの四日前十一時五分漸く復舊した

## 列車不通となる

### 午前十一時に復舊

貨車轉覆の椿事が突發し夜の森  
大野間は不通に陥つた。列車  
は全く不通となり、同時刻の上  
り列車は大野驛から引返し上野  
の乗客のみを残して岩沼驛經  
由本線を上り午後三時五十分上  
野に到着、上り准急列車は六  
野驛で停車したため平野から午  
前二時二十分上り准急列車  
を特發した。下り列車は午前四  
時五分平野から准急行を夜の森  
驛まで特發した外急行其他列車  
全部は復舊した四日午前十一時

## 損害五萬圓

### 貨車は解体

貨車が轉覆した熊川橋は仙臺鐵  
道局の管下にするため同局中  
井運輸事務所長、和保保線事務  
所長等は夫夫百余名を引率して  
現場に來り復舊工事を急がせ、  
線路だけは午前十一時五分復舊  
開通せしめたが、轉覆した貨車  
は之を解体して引あげる事とし  
貨物の物盗を警戒した。

## 轉覆は不可抗力

### 客車でなかつたのが幸ひ

轉覆の原因について調査した處  
所であるが、熊川橋は地上四十三  
メートルの高さで現時は粉砕せる貨  
車と積荷の石炭、米、石油、メリ  
ン粉等散亂してゐる。同夜の  
困難な箇所下當然速力を出す  
箇所であるが、時恰かも三十三  
米といふ烈風が吹いてゐたので  
中途の空車が吹き飛ばされて脱  
線し引續かれて十三輛が順次に  
轉覆したもので、轉覆と同時に  
五十キロの壓搾空氣制動機が利  
いたため機關車が停車したから  
後部は轉覆を免れたものと見ら  
れ、椿事は殆んど不可抗力と見  
做されてゐる。同列車は富岡驛  
迄は客車三輛を連結した混合列  
車であるが其後であつたのは幸  
ひであつたと當局で語つてゐた

## 現場を見た

### 大野驛長談

貨車が吹き飛ばされた熊川橋は  
谷間にかげられた交通不便な個  
所である。目下解体中で、全部の引上げは  
一ヶ月余の日数を要する見込み  
である。椿事による損害は貨車  
一輛二千圓として十三輛で二萬  
六千圓、貨物價格四千圓、引上  
費其他復舊費二萬圓、合計五萬  
圓である。

## 青年團員

### 三百名出動

椿事を聞いた大野、熊町兩村青  
年團員約三百余名は直ちに出動  
し復舊作業の手傳ひをなした外  
線路たけは午前十一時五分復舊  
開通せしめたが、轉覆した貨車  
は之を解体して引あげる事とし  
貨物の物盗を警戒した。

## 鐵道關係者談

轉覆の原因について調査した處  
所であるが、熊川橋は地上四十三  
メートルの高さで現時は粉砕せる貨  
車と積荷の石炭、米、石油、メリ  
ン粉等散亂してゐる。同夜の  
困難な箇所下當然速力を出す  
箇所であるが、時恰かも三十三  
米といふ烈風が吹いてゐたので  
中途の空車が吹き飛ばされて脱  
線し引續かれて十三輛が順次に  
轉覆したもので、轉覆と同時に  
五十キロの壓搾空氣制動機が利  
いたため機關車が停車したから  
後部は轉覆を免れたものと見ら  
れ、椿事は殆んど不可抗力と見  
做されてゐる。同列車は富岡驛  
迄は客車三輛を連結した混合列  
車であるが其後であつたのは幸  
ひであつたと當局で語つてゐた

## 七日に學窓を巣立つ

### 磐中卒業生氏名

縣立磐城中等學校第二十八回卒業  
式は七日午前十時同校で舉行の  
筈で、縣からは知事代理大久保  
學務部長臨席の筈である。卒業  
する生徒のうち學業操行優等生  
鈴木信道君は磐崎村の鈴木道三  
氏の令息である。精勤君その他  
及び卒業生氏名左の如し。

一、卒業操行優等生鈴木信道  
一、在學五ヶ年間副組長勤績  
中野喜一  
一、在學五ヶ年間精勤生徒 松  
本孝一、石坂恒雄、市井茂、  
菅波勝三、西山榮、淺井義治  
川副正夫、小林清海、仲田正  
鈴木清隆、吉田武、鈴木充雄  
蛭田政義、加藤誠、高萩七  
郎、柏原信一  
一、本學年間精勤生徒 草野良  
一、江尻武、渡邊彌平、矢部  
定一、桐生道雄、渡邊武雄、  
平澤勝男

卒業生(イロハ順)  
猪狩四郎、猪狩庄一郎、伊藤  
東一、石川二郎、石室輝雄、  
市井茂、石坂恒雄、箱崎永吉  
箱崎善教、箱崎新平、箱崎登  
林政、花園徹、瑞操、花澤武  
夫、西山榮、西山輝、西山直  
治、星貞吉、星正一、蓬萊信  
男、宮岡馨、大平重夫、大森  
輝、大角憲顯、岡田修、岡  
田隆廣、岡崎英一、小高舒明  
萩野定夫、小澤信、渡邊彌平  
渡邊武雄、渡邊豊、加藤誠、  
片寄正義、風間泰介、門井眞  
澄、川副正雄、柏原信一、吉  
田武、吉田豊、吉田四郎、四  
倉久朝、高岡文夫、高野正男  
高萩七郎、田中貞、橋五郎、  
高田彌内、瀧上一男、園部雅  
美、根本弘、中野喜一、中田  
肇、仲田正、永野孝夫、永山  
大六日産業組合法發布の紀念日に

## 電話申込期間

郵便局に於ける昭和二年度特設  
電話申込期間は三月五日より同  
月十八日迄である。

## 新川柳

副業になか／＼ならぬ小鳥籠  
同僚と合はす親しむ講義録  
文化村猫へも服を着せたい氣  
あんまりな鼠に猫を借りて來  
物識りが来て賑やかな連夜と  
譯のある辭職へ手當増してや  
線込むのらしいへ屋臺熱く烟  
飛行機が來さうな時を留守居  
る  
料理今日氣に入り且那酒が過  
ぎ  
小春日を厚着不氣味に汗をか

## 産業紀念日に

### 大谷氏の宣傳

平町信用組合長大谷久蔵氏は明

